

selective Synthesis of (+)-Indolizidine,  
(+)-Laburnine and (+)-Elaeokanines A and C using  
the Diels-Alder Reaction of  $\alpha$ -(2-exo-Hydroxy-  
10-bornylsulfinyl)maleimide. J. Chem. Soc.  
Perkin 1 : 15-23, 1994.

#### ◆ 学会発表

- 1) 杉田 淳, 高橋たみ子, 小泉 徹: 超高压下における不斉環化反応と, その機構の解明. 日本薬学会第113年会, 1993, 3, 大阪.
- 2) 黒瀬規之, 河南三郎, 高橋たみ子, 荒井謙次, 小泉 徹: 光学活性セレノニウムイリドの合成と生成機構. 日本薬学会第113年会, 1993, 3, 大阪.
- 3) 川原俊一, 竹内義雄, 小泉 徹: 多重官能性構造を有する新規化合物の化学 17. 3級フッ化物の一般的合成経路の拡大. 日本薬学会第113年会, 1993, 3, 大阪.
- 4) 竹内義雄, 伊藤典明, 小泉 徹: 新規キラル誘導化試薬 CFPA の開発. 第18回フッ素化学討論会, 横浜.
- 5) 竹内義雄, 伊藤典明, 五太子まゆみ, 小泉 徹: 新規キラル誘導化試薬 CFPA の応用研究. 第19回反応と合成の進歩シンポジウム, 1993, 11, 金沢.
- 6) 高橋たみ子, 中尾直樹, 小泉 徹: 光学活性カルコゲン化合物を利用する不斉プロトン化反応の研究. 日本薬学会北陸支部第89回例会, 1993, 11, 金沢.
- 7) 黒瀬規之, 河南三郎, 高橋たみ子, 荒井謙次, 小泉 徹: 2-エキソヒドロキシ-10-ボルニル基をリガンドとした光学活性ハロセレンランおよびハロテルランの合成と反応. 第21回ヘテロ原子化学討論会, 12, 富山.

## 薬 剤 設 計 学 (1)

教 授 上 野 雅 晴  
助 教 授 吉 川 広 之  
助 手 柏 木 寛

#### ◆ 著 書

- 1) Yoshikawa H., and Muranishi S. Lymphatic transport of polar drugs after gastrointestinal administration, In Lymphatic Transport of Drugs, by Charman W.N. and Stella V.J. (Eds.) 233-254, CRC Press Inc., Boca Raton, 1992.

#### ◆ 原 著

- 1) Ueno M. and Matsumoto C.: Formation and property of mixed vesicles of phosphatidylcholine and MDP derivatives. Chem. Pharm. Bull. 41 : 2066-2068, 1993.
- 2) 足立伊佐雄, 劉 紅星, 堀越 勇, 上野雅晴, 佐藤 均: Epidermal growth factor の消化管からのリンパ吸収の可能性について. 薬学雑誌 113 : 256-263, 1993.
- 3) 劉 紅星, 足立伊佐雄, 堀越 勇, 上野雅晴: MFGM (牛乳脂肪球被膜) を用いた DDS 研究—ビタミン D<sub>3</sub> のリンパ吸収に及ぼす界面活性剤の影響—. Drug Delivery System 8 : 473-478, 1993.
- 4) 西田勝浩, 浜辺 豊, 松浦俊彦, 大澤正人, 生田 肇, 斎藤洋一, 吉川広之, 村西昌三: 脂質・界面活性剤混合ミセルを用いた IL-2 の大腸粘膜吸収に関する研究. Drug Delivery System, 8 : 273-276, 1993.
- 5) Yoshikawa H., Takada K., and Muranishi S.: Transfer of exogenous macromolecules from rat stomach wall to blood and lymph is dependent on molecular weight. Chem. Pharm. Bull. 40 : 1277-1279, 1992.
- 6) Yoshikawa H., Takada K., and Muranishi S.: Molecular weight dependent lymphatic transfer of exogenous macromolecules from large intestine of renal insufficiency rats. Pharmaceut. Res., 9, 1195-1198, 1992.

#### ◆ 総 説

- 1) 上野雅晴: ミセル—ベシクル転移のプロセス. 膜 18 : 96-106, 1993.

#### ◆ 学会発表

- 1) 嵯峨崎伸二, 明智洋子, 柏木 寛, 上野雅晴: ベシクル—ミセル転移プロセスの解析. 第113回

- 日本薬学会年会, 1993, 3, 大阪.
- 2) 甲斐美佳子, 松本千香, 上野雅晴: リン脂質, MDP 誘導体混合ベシクルの性質. 第113回日本薬学会年会, 1993, 3, 大阪.
  - 3) 滝沢康夫, 上野雅晴: 温度感受性リポソームを用いた肝臓化学塞栓療法の基礎的研究—原発性肝臓癌を用いた検討—. 第113回日本薬学会年会, 1993, 3, 大阪.
  - 4) 足立伊佐雄, 劉 紅星, 佐藤 均, 堀越 勇, 上野雅晴: Epidermal Growth Factor の消化管からのリンパ吸収について. 第113回日本薬学会年会, 1993, 3, 大阪.
  - 5) 劉 紅星, 足立伊佐雄, 堀越 勇, 上野雅晴: MFGM (牛乳脂肪球被膜) を用いた DDS 研究—消化管吸収促進機構に関する検討—. 第9回日本 DDS 学会, 1993, 9, 京都.
  - 6) 山田 明, 齊藤光和, 柚木 透, 齊藤智裕, 坂本 隆, 唐木芳昭, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 上野雅晴: THP-ADM 封入 W/O/W 型リピオドールエマルジョンおよび MINO のヌードマウス可移植性ヒト食道癌に対する抗腫瘍効果. 日本癌学会第52回総会, 1993, 10, 仙台.
  - 7) 上野雅晴, 明智洋子, 嵯峨崎伸二, 柏木 寛: 界面活性剤のベシクル膜への分配挙動と膜破壊. 第46回コロイドおよび界面化学討論会, 1993, 10, 東京.
  - 8) 上野雅晴, 松本千香, 甲斐美佳子: リン脂質, MDP 誘導体混合ベシクルの性質. 第46回コロイドおよび界面化学討論会, 1993, 10, 東京.
  - 9) 甲斐美佳子, 松本千香, 上野雅晴: リン脂質と3種類の MDP 誘導体による混合ベシクルの性質. 日本薬学会北陸支部第89回例会, 1993, 11, 金沢.
  - 10) 吉川広之, Eigen Manfred: リポザイムによる RNA 切断に関する基礎的検討. 第9回日本 DDS 学会, 1993, 9, 京都.
  - 11) Yoshikawa H., and Ehrlich Stephan: In vitro kinetics of RNA cleavage by hammerhead ribozyme. International Symposium. Delivery of protein drugs: The next 10 years, 1993, 9, Kyoto.
  - 12) 柏木 寛: HY 型ゼオライトの酸強度分布と吸着質のラジカル濃度に関する原子配列に基づく考察. 日本化学会第65春季年会, 1993, 3, 東京.
  - 13) 柏木 寛: Si/Al 比の小さいホージャサイト型ゼオライト中のケイ素とアルミニウムの配列. 第46回コロイドおよび界面化学討論会, 1993, 10, 東京.
  - 14) 柏木 寛: ホージャサイト型ゼオライトの

Si/Al 比, 原子配列, 酸強度分布, ラジカル濃度の比較. 第9回ゼオライト研究発表会, 1993, 11, 鳥取.